昇段級試験臨書課題

【師範部・段位部A】（5月か6月の選択です）

雁塔聖教序（がんとうしょうぎょうじょ）

5月

釈文＝……未足比其清華。仙露明珠。詎能方其朗潤。

雁塔聖教序（がんとうしょうぎょうじょ）

6月

釈文＝……故以智通無累。神測未形。超六塵而迥出。

※5月または6月の選択です。16字を2行で、臨書してください。
別掲の作例・書式を参考にしてください。
※筆記用具は全てツケペン、万年筆、ボールペン、細サインペン（いずれも黒）を使用してください。

昇段級試験臨書課題

【師範部・段位部B】（2月か3月の選択です）

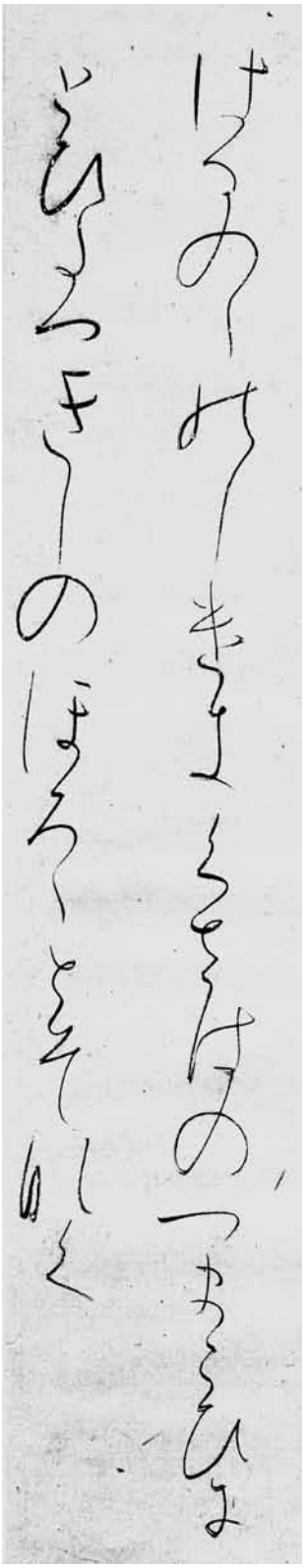
高野切第三種（こうやぎれだいさんしゅ）

2月

釈文＝あれにけり（尓介利）あはれいくよ（者）のやどなれやすみけむ（那須）ひとのおとづれもせぬ（於毛世）

高野切第三種（こうやぎれだいさんしゅ）

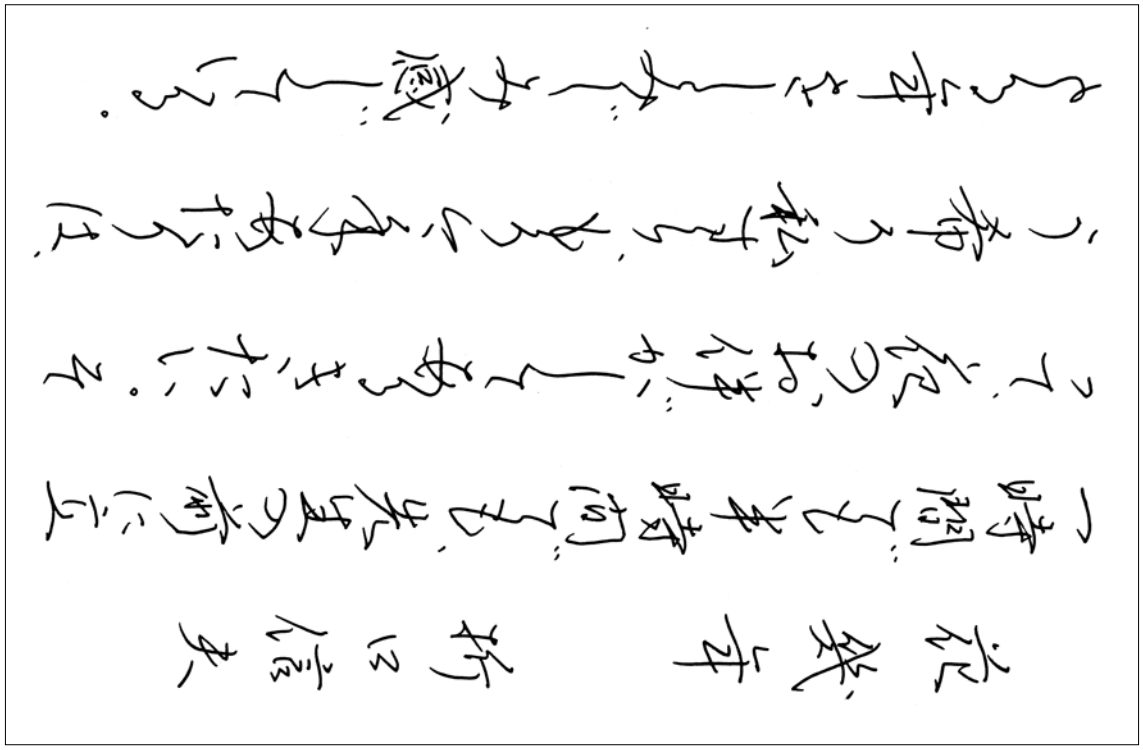
3月



釈文＝はるの、のしげきくさばのつまごひに（能遣支尓）とびたつきじのほろ、とぞなく（多那）

※2月または3月の選択です。一首を2・3行または散らし書きで臨書してください。
別掲の作例・書式を参考にしてください。
※筆記用具は全てツケペン、万年筆、ボールペン、細サインペン（いずれも黒）を使用してください。

（ペン全書芸 '20.4月号）



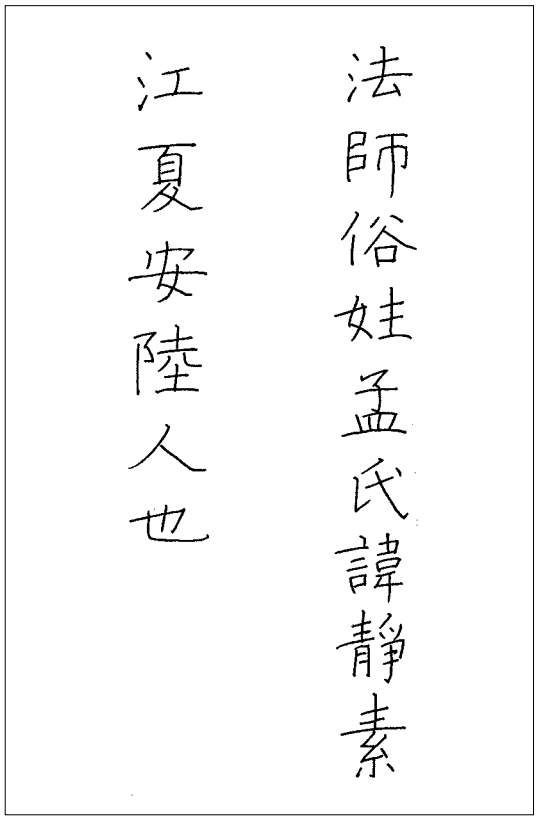
昇試参考手本　段位部Ⅲ　三段～一級用　藤野　湖津先生書

本日は、ご丁重なるご祝詞を賜り、厚くお礼申し上げます。創立70周年を迎えられましたのも、ひとえに皆様のご厚情の賜物と、深く感謝いたしております。

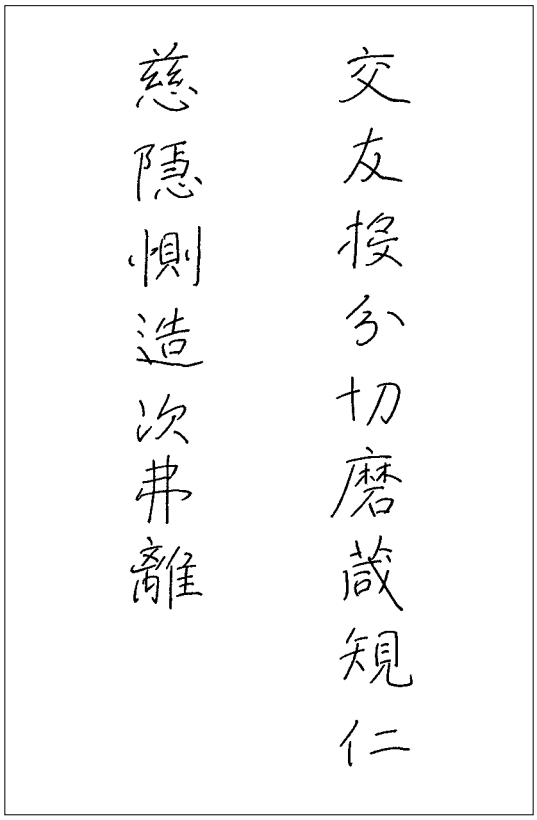
昇試参考手本　級位部Ⅳ　二級～新規用　西嶌　澄子先生書

昇段級試験臨書作例・書式

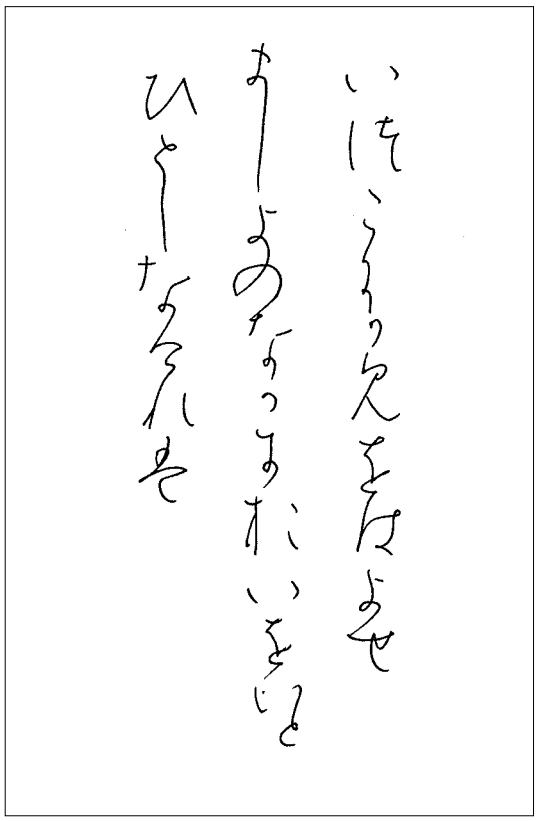
漢字2行



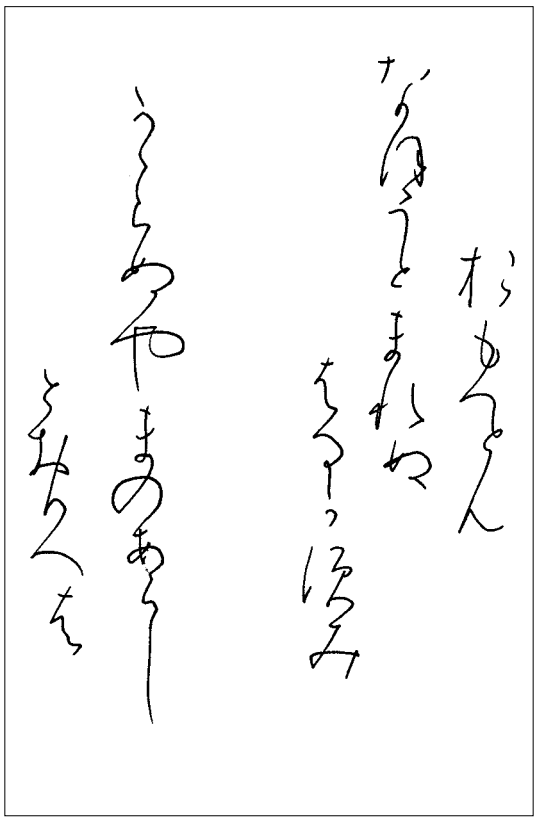
漢字2行



かな3行



かな散らし書き（これは一例で、自由です。）



（ペン全書芸 '20.4月号）

昇段級試験課題

【師範部】　①・②は太ゴシック部分が課題語句となります。

①　Ⅰ　**日本の伝説　柳田国男**

出雲の大社の農夫が信心していた地蔵様は、十七八の青年に化けて、その農夫が病気の時に、代りに出て来て、お社の田で働いたということです。（柳田国男「日本の伝説」より）

※右の文章を原文通り規定用紙に体裁よく五行で書いてください。（表題・作者名を入れてください）
書体は行書体で、若干の草書体とかなは適宜連綿を使用してください。

②　Ⅱ　**春山一路鳥空啼**（李華）

大意＝春の山の一本道、鳥の鳴き声だけが響いている。

※右の七言一句を楷・行・草の三体で、規定用紙に体裁よく三行で書いてください。

③　A　雁塔聖教序　B　高野切第三種　　A・Bは選択（Bの場合は散らしも可）

【段位部】　①は太ゴシック部分が課題語句となります。

①　Ⅲ　**花幾年　折口信夫**

一時間でも半時間でも、先生の前に立って、花のお伴がしてあるきたい。そう希う私すら、もう今年あたりは、とる年をしみじみ感じている。

※右の文章を規定用紙に体裁よく五行で書いてください。（表題・作者名を入れてください）
行書体、若干の連綿を使用して書いて下さい。これには参考手本があります。

②　A　雁塔聖教序　B　高野切第三種　　A・Bは選択（Bの場合は散らしも可）

【級位部】　太ゴシック部分が課題語句となります。

①　Ⅳ　**本日は、ご丁重なるご祝詞を賜り、厚くお礼申し上げます。創立70周年を迎えられましたのも、ひとえに皆様のご厚情の賜物と、深く感謝いたしております。**

※右の文章を規定用紙に横書きで、体裁よく五行で書いてください。
行書体、単体で書いて下さい。これには参考手本があります。
※筆記用具は全てツケペン、万年筆、ボールペン、細サインペン（いずれも黒）を使用してください。